

## Biomeme Lysis Buffer (BLB)

発行日:2019年9月2日

最新改定日:2022年6月30日(Rev.2)

## 1. 化学物質等及び会社情報

## 1.1 化学物質等の名称

製品名	Biomeme Lysis Buffer (BLB) Biomeme 溶解/バッファー-BLB
製品番号	3000093, 3000133, 3000536

## 1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

## 1.3 提供者の詳細

製造元の会社情報	Biomeme, Inc. 1015 Chestnut St., Suite 1401, Philadelphia, PA 19107, USA
供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール:info@genetics-n.co.jp

## 2. 危険有害性の要約

## 2.1 物質または混合物の分類

## OSHA\*(29 CFR\*1910.1200)に基づくGHS\*分類

危険有害性項目	危険有害性区分/細区分
物理化学的危険性	データなし
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)(3.1章)	区分:3
皮膚腐食性/刺激性(3.2章)	区分:1C
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性(3.3章)	区分:1
環境に対する有害性	
短期間(急性)水性環境有害性 (4.1章)	区分:2
長期間(慢性)水性環境有害性 (4.1章)	区分:2

## 2.2 注意書きを含むGHS\*ラベル要素

絵表示又はシンボル	
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------

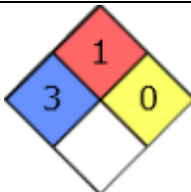
Biomeme Lysis Buffer (BLB)

注意喚起語	危険
危険有害性情報	
物理的危険性	データなし
健康有害性	H301: 飲み込むと有毒
	H302: 飲み込むと有害
	H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
	H318: 重篤な眼の損傷
	H319: 強い眼刺激
環境有害性	H401: 水生生物に毒性
	H411: 長期継続的影響により水生生物に毒性
注意書き	
一般的な注意書き	データなし
安全対策	P260: 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
	P264: 取扱後は皮膚をよく洗うこと。
	P270: この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
	P273: 環境への放出を避けること。
	P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	P310: 直ちに医師に連絡すること。
	P321: 特別な処置が必要である(このラベルの応急措置については、セクション 4.1 および 4.2 を参照)。
	P330: 口をすすぐこと。
	P363: 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
	P391: 漏出物を回収すること。
	P301+P310: 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。
	P301+P312: 飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、毒物センターまたは医師に連絡すること。
	P304+P340: 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
	P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
	P301+P330+P331: 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
	P303+P361+P353: 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水、又はシャワーで洗うこと。
P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。	
保管	P405: 施錠して保管すること。
廃棄	P501: 内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。

2.3 GHS\*分類に該当しない他の危険有害性

HMIS*の表示システム(0-4)	健康障害の危険:3、火災の危険:1、反応性:一、特定の危険:一										
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">Biomeme 溶解バッファー</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #000080; color: white;">健康</td> <td style="background-color: #000080; color: white; text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FF0000; color: white;">可燃性</td> <td style="background-color: #FF0000; color: white; text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #FFA500;">物理的危険性</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">人体保護</td> </tr> </table>	Biomeme 溶解バッファー		健康	3	可燃性	1	物理的危険性		人体保護	
Biomeme 溶解バッファー											
健康	3										
可燃性	1										
物理的危険性											
人体保護											

## Biomeme Lysis Buffer (BLB)

NFPA*の表示システム(0-4)	H(健康危険性):3、F(燃焼危険性):1、R(反応危険性):0、特定の危険:-
	

漂白剤との接触を避けること。漂白剤への暴露は、有毒ガスを放出することがある。

## 3. 組成及び成分情報

## 3.1. グアニジンチオシアナート

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	グアニジンチオシアナート(Guanidine Thiocyanate)
別名/同義語	グアニジニウムロダニド; グアニジニウムチオシアナート; チオシアン酸、グアニジンとの化合物(1:1)
CAS*番号 (EC 番号)	593-84-0 (209-812-1)
インデックス番号	615-030-00-5
濃度又は濃度範囲	20%~<75%(体積)
物理化学的危険性	データなし
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)(3.1章)	区分:3 H302: 飲み込むと有害
皮膚腐食性/刺激性(3.2章)	区分:1C H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
眼に対する重篤な損傷性/ 眼刺激性(3.3章)	区分:1 H318: 重篤な眼の損傷
環境に対する有害性	
短期間(急性)水性環境有害性 (4.1章)	区分:2 H401: 水生生物に毒性
長期間(慢性)水性環境有害性 (4.1章)	区分:2 H411: 長期継続的影響により水生生物に毒性

## 4. 応急措置

## 4.1 必要な応急措置の説明

一般的アドバイス	医師の診察を受けること。 担当医師にこの安全データシートを見せること。
暴露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動させること。 息をしていない場合、人工呼吸を施すこと。 医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類と靴を脱ぐこと。 石鹼と大量の水で洗い落とすこと。 医師の診察を受けること。
眼に入った場合	眼に入った場合: 水で数分注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

安全データシート(SDS 番号:SDSBM0001)  
Biomeme Lysis Buffer (BLB)

	大量の水で 15 分以上洗い続け、医師の診察を受けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診断、手当を受けること。
飲み込んだ場合	直ちに医師に連絡すること。 無理に吐かせてはならない。 意識がない人に、決して口から何も与えてはならない。 口を水ですすぐこと。 直ちに医師の診察を受けること。
応急措置対応者の個人用保護具	十分な換気を確保すること。 個人用保護具を使用すること。 身体保護については、セクション 8 を参照のこと。

4.2 最も重要な急性及び遅延性の症状/影響

急性症状	皮膚に付着するかまたは吸入するかまたは飲み込むと有害。 重度の熱傷を引き起こす。 重篤な眼の損傷を引き起こす。
遅発性症状	データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	水噴霧、アルコール耐性泡消火剤、粉末化学消火剤または二酸化炭素を使用すること。
--------	-----------------------------------------

5.2 化学物質等から生じる特有の危険有害性

特有の危険有害性	消火活動による漏出物を下水または水路に流入させてはならない。 分解生成物への暴露は、健康に有害なことがある。 酸化炭素、窒素酸化物(NOx)、硫黄酸化物
----------	------------------------------------------------------------------------------------

5.3 消防士用の特別な防具と予防措置

消火を行う者の保護	必要な場合、消防向け自給式呼吸器を着用すること。
予防措置	データなし

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項	十分な換気を確保すること。
保護具	個人用保護具を使用すること。 身体保護については、セクション 8 を参照のこと。
緊急時措置	データなし

6.2 環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	安全に行えるなら、さらなる漏洩または漏出を防ぐこと。 製品を下水に流入させないこと。
------------	-----------------------------------------------

安全データシート(SDS 番号:SDSBM0001)  
Biomeme Lysis Buffer (BLB)

6.3 封じ込めと流出物洗浄の方法及び用具

封じ込め方法	不活性吸収剤(例えば、砂、シリカゲル、酸結合剤、汎用結合剤、おがくず)で吸収すること。
流出物洗浄の方法及び用具	適切な密閉容器に保管して廃棄すること。
	不適切な洗浄剤:次亜塩素酸ナトリウム

6.4 他のセクションの参照

廃棄	廃棄については、セクション 13 を参照のこと。
----	--------------------------

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全な取扱い	蒸気/粉じんを吸入しないこと。
	皮膚および眼との接触を避けること。
	飲み込まないこと。
	個人用保護具を着用すること(身体保護については、セクション 8 を参照)。
	使用場所での喫煙、飲食を禁止すること。
	すすぎ水を地方および国の規則に従って廃棄すること。
特定最終用途	セクション 1.2 に記載される用途を除き、特定の用途は規定されない。

7.2 混触危険性を含む安全な保管条件

安全な保管条件	容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管すること。
	強酸への暴露は、有毒ガスを発生させる。
	漂白剤への暴露は、有毒ガスを発生させることがある。

8. 暴露制御および保護措置

8.1 管理パラメータ

1. グアニジンチオシアナート (CAS*: 593-84-0)	—	—
-------------------------------------	---	---

8.2 適切な工学的管理方法

工学的管理方法	十分な産業・研究室衛生および安全慣行に従って取扱うこと。
	飲食物から遠ざけること。
	特に密閉区域では、十分な換気を確保すること。
	皮膚および眼との接触を避けること。
	使用中は飲食または喫煙をしないこと。
	休憩前、就労時間後に手を洗うこと。

8.3 個人用保護衣(PPE\*)などの個人保護措置

眼/顔面の保護	安全ゴーグルをぴったりと装着すること。
	NIOSH*(US)または EN 166(EU)など適切な政府規格に基づき試験され認定された眼の保護具を使用すること。
	異常な加工問題に備えるためにフェイスシールドおよび防護服を着用すること。
	コンタクトレンズを着用しないこと。
	ワークステーションの場所に近く洗眼器および安全シャワーがあることを確認すること。
皮膚の保護	手袋を着用して取扱うこと。
	手袋は使用前に検査すること。

## Biomeme Lysis Buffer (BLB)

	<p>選択した保護手袋は、NIOSH*またはEU指令89/686/EECおよび当該指令から派生したEN374規格に基づいて試験され認定されていることが推奨される。</p> <p>皮膚が本製品と接触するのを避けるため、(手袋の外表面に触れない)適切な手袋取外し方法を用いること。</p> <p>使用後の汚染された手袋は、適用法令および優良試験所基準に従って廃棄すること。</p> <p>手を洗い、乾燥させること。</p>
身体の保護	<p>保護具の種類は、特定の職場における危険物質の濃度および量に応じて選定すること。</p> <p>耐酸性防護服</p> <p>化学薬品から保護する靴</p>
呼吸器の保護	<p>短期間の暴露または低汚染の場合、呼吸用ろ過装置を使用すること。</p> <p>集中的または長期間の暴露の場合、循環空気と独立した呼吸用保護具を使用すること。</p> <p>NIOSH*(US)またはCEN(EU)などの適切な政府規格に基づいて試験され認定された呼吸用保護具および部品を使用すること。</p>
熱的危険性	データなし
環境暴露管理	<p>安全に行えるなら、さらなる漏洩または漏出を防ぐこと。</p> <p>製品を下水に流入させないこと。</p> <p>環境への流出を避けること。</p>

## 9. 物理的及び化学的性質

## 9.1 基本的な物理的及び化学的性質の情報

外観/形状(物理的状态)	透明な液体
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
融点/凝固点	データなし
初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、ガス)	可燃性
燃焼上/下限界	データなし
爆発上/下限界	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
相対密度	データなし
溶解度(水溶性)	データなし
分配係数:n-オクタノール/水	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
爆発性	データなし
酸化特性	データなし

## 9.2 その他の安全情報

安全情報	<p>強酸への暴露は、有毒ガスを発生させることがある。</p> <p>漂白剤への暴露は、有毒ガスを発生させることがある。</p>
------	------------------------------------------------------------------

## Biomeme Lysis Buffer (BLB)

## 10. 安定性及び反応性

反応性	強酸への暴露は、有毒ガスを発生させることがある。 漂白剤への暴露は、有毒ガスを発生させることがある。
化学的安定性	推奨される保管条件下で安定である。
危険有害反応の可能性	強酸への暴露は、有毒ガスを発生させることがある。 漂白剤への暴露は、有毒ガスを発生させることがある。
避けるべき条件	酸化剤、酸性またはアルカリ性物質および次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)から遠ざけておくこと。
混触禁止物質	強酸、強酸化剤、シアン化物、次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)
危険有害性のある分解生成物	火災条件下で形成される危険有害な分解生成物

## 11. 有害性情報

急性毒性 (グアニジンチオシアナート)	LD <sub>50</sub> * 経口 - ラット - 593mg/kg LD <sub>50</sub> * 腹腔内 - マウス - 300mg/kg
皮膚腐食性/刺激性	強い苛性作用 刺激作用
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	強い苛性作用 刺激作用 重篤な眼の損傷のリスク 不可逆的な眼の損傷を引き起こすことがある。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし
生殖細胞変異原性	データなし
発がん性	データなし
生殖毒性	データなし
CMR 特性の評価のまとめ	データなし
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし
吸引性呼吸器有害性	データなし
追加情報	当社の知る限り、化学的、物理的、および毒性学的性質は完全に調査されていない。

## 12. 環境影響情報

短期間(急性)水性有毒性	グアニジンチオシアナート:LC <sub>50</sub> * - Daphnia magna (ミジンコ) - 42.4mg/L - 48h
残留性及び分解性	データなし
生物蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
PBT* 及び vPvB* 評価の結果	データなし
その他の悪影響	専門家以外の者が取扱いまたは廃棄した場合、環境への危険有害性を排除できない。 長期的影響により水生生物に有害。

安全データシート(SDS 番号:SDSBM0001)  
Biomeme Lysis Buffer (BLB)

13. 廃棄上の注意

製品及び残余廃棄物	内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。 製品を下水、水路または土壌に流入させてはならない。
汚染された包装の廃棄	未使用製品として廃棄すること。 空の容器を再使用しないこと。
廃棄物処理	漂白剤との接触を避けること。 漂白剤との接触は、有毒ガスを放出することがある。
下水処理	製品を下水、水路または土壌に流入させてはならない。
その他の廃棄上の勧告	認可された廃棄物管理会社に送ること。

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

陸上規制情報(DOT*(米国)の規定に従うこと)	
UN Number.	U1759
Class	8
Packing Group	III
Proper Shipping Name	Corrosive liquid (Guanidinium Thiocyanate)
Reportable quantity (RQ)	No data available
Marine pollutant	No data available
Poison inhalation hazard	No data available

海上規制情報(IMO*/IMDG*の規定に従うこと)	
UN Number.	U1759
Class	8
Packing Group	III
Proper Shipping Name	Corrosive liquid (Guanidinium Thiocyanate)

航空規制情報(ICAO*-IATA*の規定に従うこと)	
UN Number.	U1759
Class	8
Packing Group	III
Proper Shipping Name	Corrosive liquid (Guanidinium Thiocyanate)

14.2 国内規制

陸上規制情報(毒物及び劇物取締法、消防法、道路法、高圧ガス保安法等に定められている運送規定に従うこと)
-----------------------------------------------------

海上規制情報(船舶安全法の規定に従うこと)	
国連番号	1759
国連正式名	Guanidinium Thiocyanate
国連危険有害性クラス	8.腐食性物質
容器等級	III

航空規制情報(航空法の規定に従うこと)	
国連番号	1759
国連正式名	Guanidinium Thiocyanate
国連危険有害性クラス	8.腐食性物質
容器等級	III



安全データシート(SDS 番号:SDSBM0001)  
Biomeme Lysis Buffer (BLB)

14.3 MARPOL \* 73/78 付属書 II 及び IBC Code \*によるバラ積み輸送される液体物質 : 本製品には該当しない。

15. 適用法令

15.1. 化学物質名:グアニジンチオシアナート(CAS\*:593-84-0、濃度:20%~<75%)

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)	非該当
労働安全衛生法(安衛法)	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀による環境の汚染の防止に関する法律(水銀汚染防止法)	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(海洋汚染防止法)	非該当
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律(オゾン層保護法)	非該当
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法、廃掃法)	
産業廃棄物	廃棄物処理法第二条第四項 廃棄物処理法施行令第二条・第二条の二・第二条の三
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化学物質排出等管理促進法/化管法/PRTR法)	非該当
化学兵器の禁止及び特定物質の規制等に関する法律(化学兵器禁止法)	非該当
食品衛生法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(カルタヘナ法)	非該当
医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(医薬品医療機器等法、薬機法)	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。本 SDS 情報は、徹底的な調査及び/または研究によって得られたものであり、推奨は専門的判断の慎重な適用に基づいています。また包括的のみならず、ガイドとしてのみ使用されるべきものです。全ての物質及び混合物には、未知の危険性があるため注意して使用する必要があります。当社では、実際の方法、量、使用条件等を管理することができないため、本書に記載されている取扱いまたは製品との接触到起因する損害賠償責任は一切負いません。本 SDS の情報は、市場性や特定目的適合性の黙示の保証を含め、明示的にも黙示的にもいかなる保証をするものではなく、また品質を特定するものでもありません。

## Biomeme Lysis Buffer (BLB)

### 略語

- CAS(Chemical Abstract Service):ケミカル・アブストラクト・サービス
- CFR(The Code of Federal Regulations):米国連邦規則集
- DOT(United States Department of Transportation):米国運輸省
- GHS(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals):化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- HMIS(Hazardous Materials identification System):危険有害性物質識別システム
- IATA(International Air Transport Association):国際航空運送協会
- IBC Code(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Danderous Chemicals in Bulk):危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- ICAO(International Civil Aviation Organization):国際民間航空機関
- IMDG(International Maritime Dangerous Goods):国際海上危険物規則
- IMO(International Maritime Organization):国際海事機構
- LC<sub>50</sub>(Median/50% Lethal Concentration):半数(50%)致死濃度
- LD<sub>50</sub>(Median/50% Lethal Dose):半数(50%)致死量
- MARPOL(International Convention for the Prevention of Pollution from Ships) 73/78:1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書
- NFPA(The National Fire Protection Association):全米防火協会
- NIOSH(National Institute for Occupational Safety and Health):米国立労働安全衛生研究所
- OSHA(Occupational Safety and Health Administration):米国労働安全衛生局
- PBT (Persistent bioaccumulative and toxic substances):難分解性、生物蓄積性、毒性を示す性質あるいは物質
- PPE(Personal Protective Equipment):個人用防護具(衣)
- vPvB(very Persistent and very Bio-accumulative):極難分解性、極生物蓄積性を示す性質あるいは物質

### 引用文献及び参照ホームページ等

化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)

NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

[https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip\\_search/srhInput](https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput)

職場の安全サイト(厚生労働省)

[http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pg/GHS\\_MSD\\_FND.aspx](http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx)

以上